

令和元年度 下京区運営の総括表（実績）

1 下京区基本計画に基づく着実なまちづくりの推進のために

テーマⅠ 人と人との絆をつなぐ（人をつなぐ）

基本方針	令和元年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考（課題や総括、今後の方針等）	所属等
基本方針Ⅰー① 健やかな暮らしを 地域力で育む	地域ぐるみの子育て支援	<p>子どもを地域や社会の宝として大切に育む、京都ならではの「はぐくみ文化」を伝承・創造するため、子どもの総合支援窓口の機能を活かして、地域ぐるみの子育て支援の環境づくりを推進します。 ＜31年度＞ ○下京みらい数珠つなぎプロジェクト（新規） 地域の各種団体や企業、商店街、大学、寺社、芸術文化団体等、様々な主体で構成する「下京みらい数珠つなぎプロジェクト会議」を創設し、子どもの健全育成に関する情報や課題等を共有することで、子どもたちを地域の宝として大切にはぐくむ、京都ならではの「はぐくみ文化」を区民ぐるみで推進します。 ○「下京赤ちゃんねっと事業」の充実（充実） 地域の主任児童委員等が妊婦や子どもが産まれた世帯に、地域の子育て支援情報をお届けする「下京赤ちゃんねっと事業」をお申込みの方に「下京赤ちゃんねっとふるしき」をお贈りする取組を新たに実施し、より多くの方に同事業を知っていただき、利用いただくことで、早期に地域とのつながりを深め、子育て家庭の孤立化や児童虐待などの未然防止につなげます。</p>	<p>1 下京のはぐくみ文化発信事業 下京区の子育てに関する身近な情報を「子どもねっと下京」「たんぽぽ通信」ウェブサイト「下京子育て応援情報」で発信している。今年度10月にはウェブサイトをリニューアルし、地域のイベント開催情報なども取り上げ、より幅広い分野の情報をより多くの家庭に発信している。</p> <p>2 妊婦相談事業 母子健康手帳交付時に全員の方に保健師が面接を実施し、妊婦の不安や育児環境等に対する相談を受け適切な支援を行っている。 実績 妊婦相談数 679件</p> <p>3 こんにちはプレママ訪問 初妊婦等のご家庭に対し、妊娠中に保健師または助産師等が訪問を行い、妊娠・出産・育児に関する相談に対し、情報提供を行っている。 実績 訪問数 207件</p> <p>4 こんにちは赤ちゃん訪問 生後4箇月までの乳児のいる家庭に訪問し、育児や産後の生活の相談を受け適切な支援を行っている。 実績 訪問数 523件</p> <p>5 下京赤ちゃんねっと事業 主任児童委員等が妊婦や赤ちゃんが生まれた家庭に、「下京赤ちゃんねっとふるしき」をお届けして地域とつながり下京区で安心して出産・子育てができるよう支援している。 実績 90件</p> <p>6 「下京たんぽぽ広場」の実施 乳幼児を養育中の親子のふれあいと交流の場を提供している。 日時 10月30日(水) 10時30分から正午 場所 元安寧小学校 参加者 230人(大人112人、子ども118人) 主催 下京たんぽぽ広場実行委員会</p> <p>7 児童虐待防止の取組 下京区子ども家庭支援ネットワーク協議会として支援機関対象に実施。 ①「体罰や言葉での虐待、急増する面前DV・・・深刻な心の傷」(参加者77人) ②「支援者のためのステップアップ研修」2回(参加者75人) ③ 地域子育て支援連携会議(参加者32人)</p> <p>8 下京子育て支援講演会の実施 【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】 「子どもたちの今～こころの居場所ってなに？」(3/3実施予定)</p>	<p>「ともにいのちをはぐくみ、子どもの健やかな成長とともに促し、すべての人が自分らしくいきいきと生きていくことのできる地域社会」を目指す。</p> <p>1 妊娠期からともにいのちをはぐくむ地域づくり 妊娠から出産、子育てまで切れ目ない支援を行う。「下京赤ちゃんねっと事業」を充実させ、妊娠期から地域交流を促し、子育て家庭の孤立化防止、負担の軽減を図る。</p> <p>2 児童虐待防止の取組 児童虐待の未然防止にむけて関係機関の連携強化を図る。</p> <p>3 「下京みらい数珠つなぎプロジェクト」の拡充 下京区においてより暮らしやすく、安全で、魅力的なまちにすることを目的に、地域力を生かして主体的に活動している団体や事業者等と連携し、子育て家庭と地域との交流を促す。</p> <p>4 ウェブサイト「子育て応援情報」の充実 下京みらい数珠つなぎプロジェクトと連動し、ライフステージに応じた幅広い分野の情報を発信していただけるようウェブサイトの内容について充実を図る。</p> <p>5 はぐくみ文化の醸成 子育て世代だけでなく、これから子育てを担っていく思春期世代を含め、いのちの大切さ、生きる喜び等を伝えていく。</p>	子どもはぐくみ室

基本方針	令和元年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考（課題や総括、今後の方針等）	所属等
	地域ぐるみの子育て支援		<p>9 親子で楽しむ健康教室(出前教室) 児童館や子育てサロンに専門職が講師として出向き、講話や相談に対応した。遊びを通して親同志の交流や地域とのつながりが深められ、講師にも気軽に相談できる場となっている。</p> <p>①5月15日(水) 「きしゃぼっぼ」 個別相談 10組 ②7月 3日(水) 「きしゃぼっぼ」 個別相談 13組 ③7月 3日(水) 「プーさん」 講話・個別相談 9組 ④7月 9日(火) 下京ひかり児童館 講話・個別相談 5組 ⑤7月31日(水) 修徳児童館 個別相談 17組 ⑥8月23日(金) 「いっしょにあ・そ・ぼ」 個別相談 11組 ⑦9月 6日(金) 「いっしょにあ・そ・ぼ」 個別相談 22組 ⑧9月10日(火) 下京ひかり児童館 講話・個別相談 9組 ⑨9月13日(金) 開智てんとう虫 個別相談15組 ⑩9月18日(水) 「きしゃぼっぼ」 個別相談15組 ⑪11月6日(水) 「プーさん」 講話・個別相談 10組 ⑫12月6日(金) 「いっしょにあ・そ・ぼ」 個別相談 7組 ⑬1月24日(金) 「ポコポコ」 個別相談 5組 ⑭1月29日(水) 「きしゃぼっぼ」 個別相談12組 ⑮2月10日(月) 格致つどいの広場 個別相談7組 ⑯2月14日(金) 「いっしょにあ・そ・ぼ」 個別相談10組</p> <p>10 ことHugmiプロジェクト(地域子育て支援拠点事業)への参加 発達に気になる親子サポートする「ちょこちゃん」「ひかりちょこちゃん」への職員派遣 14回</p> <p>11 次世代はぐくみプロジェクト事業 赤ちゃんのいる暮らしなどの講話を行い「思春期における次世代を育む意識づくり」に繋いでいる。 ・①2月28日(金) 下京中学校(3年生) 受講者 190人</p> <p>12 防煙セミナー 啓発を推進し、喫煙防止を図るため、保健師等による講話・体験コーナーの指導を行った。 (協力機関：NPO法人京都禁煙推進研究会、京都府医師会) ①9月 9日(月) 下京中学校1年生 184人 ②1月31日(金) 七条中学校1年生 138人</p> <p>【新規】下京みらい数珠つなぎプロジェクト H31年3月に創設イベントとしてトークセッション、交流会を実施。令和元年10月に子どもの健全育成に先進的に取り組んでいる企業等をパネリストに迎え、パネルディスカッションを実施。地域ぐるみで子どもの健全育成の取組を強化する気運を高めた。</p>		子どもはぐくみ室

基本方針	令和元年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考（課題や総括、今後の方針等）	
基本方針 I-① 健やかな暮らしを 地域力で育む	「健康長寿のま ち・下京」の推進 ～地域共生社会を 目指して～	<p>赤ちゃんから高齢者まで、障害のある人もない人も、すべての区民一人ひとりが地域で自立して安心して生活できる「地域共生社会」の実現を目指します。</p> <p>健康づくりをはじめ、「笑顔」を基盤に「顔のみえる」まちづくりに主体的に取り組む機運を醸成します。</p> <p><31年度> ○啓発・発信プロジェクト「スマイルUP下京」（充実） 「笑顔」をテーマとした講演会等の開催により、科学的根拠に基づく「笑顔」の健康効果（ストレス軽減、認知症予防、免疫力向上等）を啓発し、区民の健康づくりを推進します。</p> <p>○食文化から考えるがん予防などの啓発事業（充実） 「食文化と健康」をテーマとした講演会等の開催により、健康的でバランスのとれた食習慣について学ぶ機会を提供し、がんや生活習慣病の予防を推進します。</p> <p>○下京こころのふれあいネットワーク事業の推進 こころの病や様々な障害について普及啓発を行い、理解促進を図ります。</p>	<p>1 スマイルUP下京 ～あなたの笑顔から健康長寿～ (1) 講演会 「地域へ広めたい お笑い文化と健康づくり」 「笑い」の健康効果に関する講話と漫才を組み合わせた講演会を開催、130名が参加した。 ・実施日：10月7日（月） ・場 所：下京区役所4階 会議室 ・講 師：関西大学人間健康学部教授・日本笑い学会会長 森下伸也 氏、 吉本興業 京都府住みます芸人 タナからイケダ</p> <p>(2) 区民の笑顔の写真を募集し制作した動画・ポスター・ちらしによる啓発</p> <p>2 京の食文化と健康講演会「家族みんなが元気になれる 京を味わう おうちごはん」 【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】 家庭や地域で継承したい京の食文化及び和食と健康の関係性をテーマとする講演会を開催。 ・実施予定日：3月15日（日） ・場所：ディリパ京都 パルホール ・講師：（公財）奈良屋記念杉本家保存会常務理事・料理研究家 杉本 節子 氏、 京都府立大学生命環境学部食保健学科教授・医師 東 あかね 氏</p> <p>3 地域における健康づくり事業 (1) 大腸がん検診啓発プロジェクトの実施 ①「スマイルUP下京 健康づくりフェア in Porta～美腸と検診でがん予防～」 大腸トンネル探検隊、クイズ（大腸がん・食育・お口の健康）、お口の機能測定、野菜の計量体験等のブースを設け、160名以上が参加。 ・実施日：8月20日（火） ・場 所：京都駅前地下街Porta ポルタプラザ ②大腸がん検診周知シールによる啓発 下京中小企業家同友会会員の事業所、下京区内のコンビニエンスストア、図書館、公園など約450か所の施設のトイレに1,000枚の周知シールを貼付。 ③人生100年時代・40歳からはじめる大腸がん検診啓発 受診者へ大腸がん啓発トイレットペーパーをプレゼント ④食育セミナー「腸活クッキング」開催 今年度8回実施する食育セミナーのうち1回を大腸がん予防のテーマで実施、12名が参加。 ・実施日：10月4日（金） ・場 所：下京区役所2階 栄養指導室</p> <p>(2) シルバークラブの方を対象とした禁煙・防煙教室 たばこの害について学ぶ教室について、たばこが原因の1つであるがんや歯周病にも意識を高めるため、胸部（結核・肺がん）検診、成人歯科相談事業と併せて同会場にて実施した。 希望者には、短時間禁煙支援として、禁煙のための情報提供や動機付けを実施。 ・実 施 日：6月3日、7月1日、8月5日の計3回 ・参加人数：計41名（うち3名に短時間禁煙支援を実施）</p> <p>(3) 骨粗しょう症予防・啓発のための講話、骨密度測定の実施 出前教室の中で、骨粗しょう症の予防・啓発のための講話や骨密度測定を実施。 ・9月19日（木）七条学区健康すこやか学級 59名 ・11月19日（火）洛央小PTA 19名 ・12月 8日（日）しもせいフェスタ 40名 ・1月20日（月）西大路学区健康すこやか学級 38名</p> <p>(4) お口からはじめる生活習慣病予防教室 歯と口の健康づくりから健康長寿を目指すため、歯の喪失の原因となるむし歯や歯周病の予防について、また、お口の機能チェックやお口の体操を行い、口腔機能の維持・向上を図る教室を実施。 ・9月24日（火）西大路学区健康すこやか学級 29名 ・1月17日（金）大内学区健康すこやか学級 22名</p> <p>(5) その他健康づくりのための教室等 計19回、延べ参加人数667名</p>	<p>新しい生活スタイルを踏まえ、「笑顔の健康づくり」「地域のつながりづくり」を目標とした各種取組を進める。</p> <p>1 区社協等と協働で実施する「自宅でできる健康づくり」啓発事業 新型コロナウイルス感染拡大予防のための「新しい生活スタイル」を踏まえ、子育て世代から高齢者まであらゆる世代の「自宅でできる健康づくり」について、下京区社会福祉協議会をはじめとする関係機関と協働してリーフレットによる情報発信を行い、同時に区民の皆様からの悩みや相談に応じるきっかけともなる啓発事業を実施する。 （1）区社協（高齢者向け）…5月から順次発行 （2）健康長寿推進課 ①親子向け …7月20日発行 ②中高年向け …10月30日発行（予定）</p> <p>2 京の食文化と健康講演会 幼少期から食への関心や味覚を育て、栄養バランスの良い食事を家庭で実践していただくために、家族や地域で実践、継承していきたい「京の食文化」、「和食と健康づくり」をテーマに、講師に講演いただく事業を実施する。 時期：令和3年3月（予定） 会場：ディリパ京都 パルホール（予定）</p> <p>3 地域における健康づくり事業 （1）防煙（分煙）・禁煙支援 孫が生まれる予定、孫が生まれた祖父母等を対象とする「じいじ・ばあばのための防煙教室」を実施する。 （2）お口からはじめる生活習慣病予防教室 高齢者の居場所での開催 （3）その他健康づくりのための健康教室 各団体の教室へ出向いて実施する。</p> <p>4 健康づくりに取り組む団体等の支援（継続） （1）健康づくりサポーター（しもけんズ） 各事業での活動PR、スキルアップ教室等を実施する。 （2）下京歩歩（ぼっぼ）塾 活動に関する相談対応等を行う。</p> <p>5 高齢者便利帳シニアお出かけマップの普及（継続）</p>	健康長寿推進課

基本方針	令和元年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考（課題や総括、今後の方針等）	所属等
健やかな暮らしを地域力で育む	「健康長寿のまち・下京」の推進～地域共生社会を目指して～		<p>4 健康づくりに取り組む団体等の支援</p> <p>(1) 健康づくりサポーター(しもけんズ)の活動支援 しもけんズの活動方針に関する相談対応、正しい知識や情報の提供、健康づくりサポーターのPR、イベント等での活動機会の提供を行った。 【参考】サポーター登録者13名（令和2年3月末現在）</p> <p>(2) 下京歩歩(ぽっぽ)塾 IT歩数計をつけたウォーキングで歩くことを習慣づけ、地域ぐるみの健康づくり活動を行い、区民の健康増進を図る事業であり、平成28年度からは塾生による自主運営を行っている。 区役所は、活動に関する相談対応、下京歩歩塾と関係機関の連絡・調整等の支援を行っている。 健康長寿推進課より健康に関する講師を派遣した。 【参考】塾生数：55人（令和2年3月末現在）</p> <p>5 高齢者便利帳シニアお出かけマップの普及 地域包括支援センターが中心となり作成したマップを、区民に利用してもらえるよう普及に努めた。令和2年3月には、地域ケア会議等での意見を踏まえ、情報を更新したVer. 5を発行（1,500冊）。</p>		健康長寿推進課
			<p>1 「下京こころのふれあいネットワーク」（地域住民団体や保健、福祉、医療等の関係機関により構成）事業の推進</p> <p>(1) ヒューマンライブラリー ・日 時:12月9日(月)14時～16時 ・場 所:下京区役所4階会議室 ・内 容:こころの病をお持ちの方が「本」になり、自らの人生や経験を「読者(参加者)」へ語り、こころの病とはどういったものか、障害のある人も、ない人も皆が暮らしやすいまちにするにはどうしたらよいか、ともに考え語り合う。 ・本役(当事者):8人 ・参加者:60人</p> <p>(2) 地域懇談会(地域に向いて実施する学習会) ①日 時:9月20日(金)13時30分～15時 場 所:ひと・まち交流館 内 容:高齢者のメンタルヘルス 参加者:80人 ②日 時:1月29日(水)13時30分～15時 場 所:京都市下京老人福祉センター 内 容:高齢者のうつ病について 参加者:57人</p> <p>(3) 作品展・活動紹介 ・期 間:12月9日(月)～12月20日(金) ・場 所:京都マルイイベントスペース ・内 容:ネットワーク活動等を知ってもらうための作品・パネル展示、活動紹介</p> <p>(4) 「下京こころほっとだより」の発行(ネットワーク活動等を掲載) ・発行時期:令和元年11月(第15号)、令和2年3月(第16号) ・発行部数:各500部</p>	<p>障害の有無や年代や分野を超えて住民がつながる地域共生社会を目指し、誰もが参画できる事業の推進に努める。</p> <p>令和元年度の実績を踏まえ、こころの病や障害について理解を深め、こころの健康への区民の関心を高めるとともに、地域で生活する精神に障害のある区民への支援について関心を高められるようネットワーク参画団体と協力しながら活動を継続する。</p> <p>・講演会（年1回） ・地域懇談会（年2～3回） 学区に向いて、精神保健福祉に係る普及啓発・意見交流等 ・パネル・作品展 ネットワークに参画している医療関係機関、福祉施設・就労支援施設、保健福祉センター、社会福祉協議会などの活動紹介や作品、写真の展示を行う。 ・ネットワーク通信の発行 ネットワーク活動の紹介</p>	障害保健福祉課

基本方針	令和元年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考（課題や総括、今後の方針等）	
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして 安全を高める	区民ぐるみの安心 安全なまちづくり	各学区の自主的な安心・安全に関するまちづくり活動や防災訓練への支援を行うとともに、地域の各種団体、小中学校、事業者、行政により構成する「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 下京区推進協議会」が策定した「下京区運動プログラム（具体的な取組の指針）」（平成28～32年）に基づき、自転車盗難や万引きの防止に努めるほか、我が国で国際的な会議や大会が開催されることを受け、京都駅周辺や四条通周辺などにおける危機管理対策の強化を図るための取組を推進します。あわせて、毎月14日の下京区防犯の日には「京都駅前客引き防止啓発」に取り組むなど、安心安全への機運の向上を図ります。	【下京区推進協議会の主な取組】 1 下京区推進協議会 安心安全の取組や防犯カメラ設置促進補助事業への助言などを委員からいただき、その御意見をもとに様々な事業の実施や啓発グッズの作成等を行い、犯罪防止に取り組んでいる。 ・開催日 8月29日（木）、2月25日（火） 2 安心安全強化活動 (1) 2019秋の陣 松原京極商店街通学路点検安心安全パレード（下京中学校成徳学舎から松原中学校）、一日警察署長委嘱式や地域安全功労者等表彰、安全宣言や平安ふれあいコンサート（下京中学校吹奏楽部）などを実施した。 ・日 時：10月5日（土） 11時～12時 ・参加者：250人 (2) 令和元年年末防火パレード 年末防火運動中における火災予防の啓発、パレード（ときわ幼稚園、大谷保育園、高倉幼稚園）を開催した。 ・日 時：12月17日（火） 10時～11時30分 ・参加者：250人 (3) 2020春の陣・啓発パレード 【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】 3月14日に特殊詐欺対策ビデオ上映、啓発パレード（演奏：七条中学校吹奏楽部）を区役所及び区役所周辺において行う。 3 高齢者向け安全教室の実施 特殊詐欺対策セミナー（寸劇）、交通安全セミナー、ドライブシュミレーター体験を実施した。 ・日 時：9月23日（月） 9時～12時 ・参加者：120人 4 「下京区防犯の日（毎月14日）」のライトアップ等 京都タワーや区役所などを防犯カラーのスカイブルーにライトアップするとともに、協力していただける企業や行政機関などに横断幕や懸垂幕を掲示していただき、機運向上を図った。	引き続き、下京区運動プログラムに基づき「安心安全な下京区」を目指して取り組んで行く。	地域力推進室 地域防災担当

基本方針	令和元年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考（課題や総括、今後の方針等）	所属等
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして 安全を高める	区民ぐるみの安心 安全なまちづくり	<p>また、水災害対策の課題点等を踏まえた防災マニュアルを作成・周知し、住民の防災力の更なる向上を図ることで、災害に負けないレジリエンスなまちづくりを推進します。</p> <p><31年度> ○下京区水災害対応マニュアルの作成（新規） ・災害に対する適応力を高めるため、30年7月の西日本豪雨の教訓を基にした、「下京区水災害対応マニュアル」を作成・配布し、地域の自主的な安心・安全に関するまちづくり活動を支援します。</p>	<p>【下京区推進協議会以外の主な取組】</p> <p>1 下京区安心安全ネット継続応援事業 下京区の各地域で、安心・安全なまちづくり活動に必要な事業費用に対する補助を行い、地域の安心・安全なまちづくりを支援した。 ・補助金交付学区（5学区）：郁文、開智、淳風、安寧、皆山 ・学区での具体的な取組：交通対策協議会、自主防災会共通の見守り隊ユニフォームの作成、避難時のテント、寝袋、マット等の購入</p> <p>2 各学区の防災訓練への支援 各学区では、大規模災害に備え初期初動や初期消火訓練など様々な訓練が実施されている。平成30年7月の西日本豪雨の際に課題となった水害時の避難行動や指定緊急避難場所の運営について、災害発生時に対応ができるよう指定避難場所と指定緊急避難場所の運営及び避難行動について講話を行ったほか、避難所で使用する災害用マンホールトイレ設置等の支援を行なった。（郁文、格致、豊園、安寧、大内、七条、七条第三、西大路）</p> <p>（新規）下京区水災害対応マニュアルの作成 平成30年7月の西日本豪雨の教訓を基に、水害時の避難行動や指定緊急避難場所の運営等について分かりやすくまとめた「下京区水災害対応マニュアル」を作成し、配布した。</p>	引き続き、地域の安心・安全なまちづくりを支援して、区民の防災意識の向上を図っていく。	地域力推進室 地域防災担当
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして 安全を高める	不良な生活環境の 解消	<p>建築物等における物の堆積や放置、多数の動物飼育等により、周囲を含む生活環境に悪影響を与える状態などの不良な生活環境の解消のため、「要支援者」に寄り添った支援を行うことを基本として、地域住民や福祉関係機関、「地域あんしん支援員」等との連携の下、継続的な支援を行い、安心かつ安全で快適な生活環境の確保を推進します。</p>	<p>1 「不良な生活環境を解消するための支援および措置に関する下京区役所対策事務局」会議の開催 31年度を通して、30年度からの継続1件について対応方針を定め、解消を図ることができた。また、見守り継続中の2件についても、情報共有をはかっている。 ・開催日 ①7月2日（火） *1月30日（木）メール共有</p> <p>2 支援内容 下京区役所関係各課、区社会福祉協議会等が連携して寄り添い・清掃等の支援を行い、31年度を通して、1件中1件の不良な生活環境を解消することが出来、以前の見守り・解消案件についても引き続き地域ぐるみでの見守りネットワークにより現状維持ができています。</p>	<p>不良な生活環境を解消するための支援等を円滑に進めるため、地域、関係機関及び区関係課と連携を密にし、予防的側面から見守り・声掛け支援に加え、地域住民とともに小規模清掃支援についても実施に向けた検討を行う。</p> <p>また、生活環境が改善された事案についても、再発防止の観点で、継続的な見守り支援を地域、関係機関で行う。</p>	地域力推進室、 保健福祉センター
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして 安全を高める	権利擁護等高齢者福祉ネットワークの推進 ※重点取組以外の取組		<p>高齢者の権利擁護や高齢者に関する課題の解決に向け、高齢サポート（地域包括支援センター）が中心となって運営する「下京・高齢者権利擁護支援ネットワーク」が以下の事業を実施した。区役所も同ネットワークに参画し、共に取り組んだ。（実施主体：「下京・高齢者権利擁護支援ネットワーク」）</p> <p>(1) 高齢者なんでも相談会（区役所内で開催） ・日 時：11月16日（土）10時30分～16時 ・参加者：28組 ・からだ測定会（作業療法士会ファーマシー薬局協力）：参加者54人</p> <p>(2) 権利擁護講演会（区役所内で開催） ・日 時：11月16日（土）13時30分～14時30分 ・参加者：30人</p> <p>(3) 出張相談会 ・日 時：①7月31日（水）13時～15時30分 ②2月22日（土）13時～16時 ・場 所：①老人福祉センター ②七条中学校 ・参加者：①26組 ②24名</p> <p>(4) 下京区事業者連絡会学習会「成年後見制度について」 ・日 時：9月17日（火）14時15分～15時30分 ・場 所：区役所会議室 ・参加者：70名</p> <p>上記のほか、高齢者の権利擁護や高齢者に関する課題の解決に向け、隔月、定期的に地域包括支援センター及び関係機関と協議を行い、連携した。</p>	<p>高齢者の権利擁護や高齢者に関する課題の解決に向け、高齢サポート（地域包括支援センター）が中心となって運営する「下京・高齢者権利擁護支援ネットワーク」が以下の事業を実施する（予定）。区役所も同ネットワークに参画し、共に取り組む。（実施主体：「下京・高齢者権利擁護支援ネットワーク」）</p> <p>(1) 高齢者なんでも相談会 （出張相談会として実施予定） (2) 下京区事業者連絡会</p>	健康長寿推進課

基本方針	令和元年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考（課題や総括、今後の方針等）	所属等

テーマⅡ まちの魅力や資源をつなぐ（空間をつなぐ）

<p>基本方針Ⅱ－① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ－② まちの個性を生かして魅力を高める</p>	<p>京都駅西部エリアの賑わいづくりの推進</p>	<p>京都水族館や京都鉄道博物館による年間を通しての賑わいに加え、「梅小路京都西」駅が開業し、今後、新駅に近接した公園内の七条入口広場に屋外型スポーツ施設、平成32年度中にはホテルや飲食店による複合施設が整備されるなど、ますます賑わいを増す京都駅西部エリアにおいて、エリア内の商店街や事業者等との連携の下、区民生活との調和を図りながら、京都の新たな賑わいを創出するとともに、エリア全体への回遊性の向上を図るなど、魅力的なまちづくりを推進します。 ＜31年度＞ ○「梅小路京都西」駅開業を契機とした地域の活性化（充実） ・「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」や「京都駅西部エリアまちづくり協議会」と連携し、地域の魅力発信や賑わい創出を支援 ・複合施設の事業者と連携し、エリアの活性化に向けた取組の具体化を支援</p>	<p>1「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」との連携 京都駅から梅小路公園周辺の企業・団体等で構成するプロジェクトにアドバイザーとして参加。地域からは、安寧・梅逕・大内学区の自治連合会が特別会員として参加している（特別会員を含む会員数49団体）。区役所は、プロジェクトの広報誌「梅小路FUN」、イベントチラシ等の配架、ポスターの掲出といった広報支援のほか、合同清掃活動等へ参加した。今年度は、プロジェクト主催のイベントが下京区140周年記念協賛事業として開催された。 【プロジェクト主催の主なイベント】 ●京都・梅小路七夕あそび（8月2日（金）～12日（月）） 「京の七夕」と連携し、梅小路公園をイルミネーションや行灯のあかりで演出、キッチンカーやミニ緑日、梅小路ザライブ、オリジナル行灯作りを開催。公園内の施設も営業時間を夜間延長した。 ●京都・梅小路フォトコンテスト作品募集（8月2日（金）～11月30日（土）） 「京都・梅小路エリアを楽しむ」をテーマに作品を募集。郵送、メール、コンテスト用Instagramで受付。 応募作品数 740作品 ●梅小路キッズアートキャンパス！！（11月3日（日・祝）） プロジェクト会員の企業のほか、様々な企業、団体が参加し、子ども向けの体験型ワークショップを開催。子どもたちに多様な「学び」を体験する機会を提供。 「デジタルいわし」「昔遊び」「ポッチャ体験&ゲーム」など約30のプログラム 参加者数 約1,800人</p> <p>2「京都駅西部エリアまちづくり協議会」との連携 「京都駅西部エリア活性化将来構想」に掲げる将来ビジョン（多彩な地域資源をつなげ、京都の新しい賑わいを創出するまち）の実現を目指し、企業、東・西本願寺、龍谷大学、大内自治連合会、七条自治連合会、商店街等で構成する協議会。区長は副代表。 「京都駅西部エリア全体の活性化に資する活動」を支援（補助金交付）するため。ホームページ「京都えきにし」において公募。支援が適当であると認められる活動の申請団体、4団体へ補助金を交付。補助金交付事業の広報を支援した。 【令和元年度補助金交付団体】 ○京都・梅小路みんながつながるプロジェクト（イベントの実施、エリアマップの制作、バナーフラッグの整備等） ○梅小路公園・冬芝を育てる会（冬芝の播種、パークヨガ大会の開催等） ○龍谷大学（エリア発見マガジン「京都えきにし」の発行等） ○梅小路活性化委員会（京都駅西商店街スタンプラリー2019）</p>	<p>「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」事務局及び、「京都駅西部エリアまちづくり協議会」事務局との連携を一層深め、区民と企業共同のまちづくりを更に推進する。</p>	<p>地域力推進室 事業担当</p>
<p>基本方針Ⅱ－① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ－② まちの個性を生かして魅力を高める</p>	<p>京都駅東部エリアの文化を基軸としたまちづくり</p>	<p>平成35年度の京都市立芸術大学の崇仁地域への移転の機運を高めるため、地域が進めるエリアマネージメントが円滑に進むよう支援します。 ＜31年度＞ ○京都市立芸術大学移転の機運醸成と文化芸術による地域の活性化（充実） ・市民しんぶん区版「下京のひびき」へのコラムの連載、区役所エントランスにおける芸大ブースの設置など、移転歓迎の機運を醸成 ・京都市立芸術大学が実施する移転整備プレ事業における地域連携や広報の強化 ・「灯籠ながし」や「高瀬川音楽祭」など、文化芸術と地域資源を融合したエリアの活性化を支援 ・市営住宅を活用した若手芸術家支援事業の対象者として選定された若手芸術家の地域での活動や地域住民との交流の支援</p>	<p>1「京都市立芸術大学を核とした崇仁エリアマネージメント」との連携 地域、京都市立芸術大学、行政、学識が参画する企画推進会議及び世話人会に区役所も出席し、情報共有に努めた。 ・企画推進会議 8月29日（木） ・世話人会 3月12日（木）</p> <p>2「京都駅東部エリア活性化」の取組との連携 京都駅東部エリアにおける文化芸術とまちづくりの融合によるネットワークの構築を目指すプロジェクト推進室が実施した取組に対し、地域との連携等について支援を行った。また、京都駅東部エリアの活性化に係る庁内検討会議に出席し、情報共有に努めた。 （主な活性化事業） ・「京都駅東部エリア 高瀬川沿いを歩く」（まち歩きイベント）（12月22日、2月11日） ・高瀬川オープンカルチャーフォーラム2020（シンポジウム）（1月26日） ・七条つながる商店街 スタンプラリー×アートフェスタ（2月1日～2月29日） ・東南部エリア事業「東九条野外劇場」と連動した塩小路通沿いにおける「大道芸」の披露と広報活動</p> <p>3 芸大移転機運醸成 ・下京区ふれ愛ひろばにおいて、学生のブース出展やステージ出演等を依頼するとともに、市立芸大関連ブースを設けた。 ・昨年度から引き続き、市民しんぶん下京区版「下京のひびき」において、芸大に関連する歴史や話題を紹介するコラム「芸大を知ろう！」を掲載。 ・区役所1階ロビーに芸大紹介コーナーを設置するとともに、芸大の演奏音源を再生した。 ・京都芸大の移転の機運を高め、一層の連携を図るため、京都芸大美術学部小山田教授が制作・監修したモニュメントを、下京区140周年記念事業の一環として下京区総合庁舎緑地帯に設置した。</p>	<p>「京都市立芸術大学を核とした崇仁エリアマネージメント」と「京都駅東部エリア活性化将来構想」には対象エリアの双方の事務局（総合企画局、都市計画局）と連携を図り、芸大を核とした崇仁エリアのまちづくりの円滑な進行を支援する。また、地域（下京区5学区）だけでなく、下京区全体に市立芸大移転の機運が高まるよう、プロジェクト推進室が実施する京都駅東部エリアの事業についても、区役所として支援、連携を行い、地域の活性化を目指す。</p>	<p>地域力推進室 振興担当</p>

基本方針	令和元年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考（課題や総括、今後の方針等）	所属等
基本方針Ⅱ－① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ－② まちの個性を生かして魅力を高める	子どもたちに対する文化財普及啓発事業	未来にわたり、文化財を大切に保護していくために、子どもたちに文化財に接し、理解を深める機会を提供します。 具体的には、（公財）市埋蔵文化財研究所と連携し、子どもたちが地域の歴史や文化財の魅力に触れる機会を提供し、地域の歴史への理解や文化遺産を大切にする意識の向上を図ります。	集まれ、下京歴史キッズ！～「平安京史跡めぐり」と「勾玉づくり体験」～ 親子で区内にある平安京史跡4箇所を巡った後、勾玉づくりを体験を行った。 ・日 時：令和元年7月31日（水）午前9時～正午 ・コース：京都リサーチパーク東区中庭（集合）～平安貴族のくらしと文化展示室～朱雀大路～東鴻臚館跡～西八条第跡～梅小路公園緑の館（勾玉づくり体験） ・参加者：24組53名	子どもたちに下京区の歴史や文化財の魅力を伝え、地域への愛着をもってもらうため、内容を見直した上で引続き実施する。	地域力推進室 事業担当
基本方針Ⅱ－① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ－② まちの個性を生かして魅力を高める	まちづくり委員会の設立支援	防災まちづくりに取り組んでいる有隣学区や菊浜学区において、防災まちづくり計画の策定や防災まちづくりマップの作成支援など、まちづくり委員会の活動に対する支援を継続して行います。 また、平成30年度から開始した、開智学区におけるまちづくり推進委員会の設立に向けて、学区自治連合会との協議を深め、支援します。	開智学区におけるまちづくり委員会の設立に向けて自治連合会との協議を進め、「次世代が企画段階から中心となって活動を行うための意見交換の場とする」方針を確認。学区内の若手約10名を集め、10月10日に第1回開智まちづくり委員会を開催し、同委員会の目的や意義等の共通認識化を図った。	具体的活動内容を継続して協議し、事業計画の策定に向けて、区役所も委員会規約の整備等の支援を行っていく。 醒泉学区においても、都市計画局による防災まちづくりの取組開始を契機に、学区の将来を見据えた活動等を目的に、まちづくり委員会の立ち上げを目指しているため、設立に向けた支援を行う予定。	地域力推進室 広聴担当
基本方針Ⅱ－① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ－② まちの個性を生かして魅力を高める	優良な民泊の普及支援	行政区で最も旅館業法に基づく許可施設数が多い下京区において、平成29年度に引き続き、地域住民、下京警察署、下京消防署、市保健福祉局とともに、「訪日外国人マナー向上啓発活動（民泊パトロール）」を実施するとともに、宿泊施設の運営に関するルールについて地域との協定書を締結している事例や、地域の一員として地域活動に貢献している事例など、地域と調和した運営を行う事業者の事例についても情報発信を行い、魅力的な民泊が普及するよう支援します。	1 訪日外国人マナー向上啓発活動（民泊パトロール） 平成31年度も昨年度に引き続き、植柳学区及び有隣学区において、地域、下京警察署、下京消防署、市保健福祉局とともに、「訪日外国人マナー向上啓発活動」を実施した。 啓発活動：①5月14日（火）植柳学区、②5月29日（水）有隣学区 2 京都らしい宿泊施設表彰 昨年に引き続き、観光MICE推進室が実施する「京都らしい宿泊施設表彰」に、下京区内で最も簡易宿所が多い菊浜学区と連携し推薦を行い、地域と調和した宿泊施設の事例紹介を行った。（平成31年度 4施設表彰（うち菊浜学区3施設）） 3 その他 訪日外国人客による騒音やごみ問題等の迷惑行為の防止に向け、地域、関係者と共に、取組を行っている。外国人観光客向け飲食店前における路上駐車や人だまり、路上喫煙等が問題になっている醒泉学区では、事業者、地域、下京警察署、観光MICE推進室、くらし安全推進課と共に、事業者と地域との協定書の締結を目指した協議を重ね、令和2年2月25日に、事業者・醒泉自治連・地元町内会の3者で締結した。	1 訪日外国人マナー向上啓発活動（民泊パトロール） 新型コロナウイルス感染症の影響で、訪日外国人が激減していることもあり、今後の観光客の動向を注視し、関連団体との情報共有を進める。 2 京都らしい宿泊施設表彰 宿泊施設の地域貢献等の情報収集を行い、「京都らしい宿泊施設表彰」につなげ、地域に貢献する宿泊施設の普及を図る。特に、地域の一員としての地域活動への貢献や、災害時の地域との協力体制の構築など、地域と宿泊施設の連携強化に向けた取組について支援を行う。 3 その他 引き続き、地域からの相談対応を行うとともに、現在行っている対応について知見を集め、他の地域の参考となるよう活用する。	地域力推進室 振興担当

基本方針	令和元年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考（課題や総括、今後の方針等）	所属等
基本方針Ⅱ－① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ－② まちの個性を生かして魅力を高める	「下京・京都駅前サマーフェスタ2019」の支援	企業や歴史資源の集積する下京区ならではの取組として、京都駅ビル開発株式会社、西本願寺、東本願寺、地域と連携し、下京区の夏の風物詩として、まちの賑わいづくりを進めます。 平成31年度は、下京区140周年記念事業との連携の下、更なる賑わいづくりの創出を検討し、回遊性の向上と連携エリアの拡大を目指します。	「下京・京都駅前サマーフェスタ実行委員会」のメンバーとして参加。事務局は京都駅ビル開発株式会社。他に、東本願寺、西本願寺が実行委員会メンバー。広報を支援。 ・日時：8月24日（土）午前10時～午後5時 ・場所：京都駅ビル駅前広場、東本願寺、西本願寺 プレイバント①7月27日（土）～28日（日）本願寺納涼盆踊り ②8月23日（金）カラスマナイトフェスin東本願寺 <内容> ・京都駅ビル：ステージ（オープニングセレモニー、ステージ発表、KBSラジオ公開生放送）、子ども縁日コーナー ・東本願寺：京都 食とアートのマーケットin東本願寺、ツリーライミング、ミニSL運転 ・西本願寺：国宝「飛雲閣」修復現場特別公開、アコースティックギターコンサート、門前町まちかどコンサート ・参加者：約41,400人（うち、プレイバント①約12,000人、②約900人）	令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	地域力推進室 事業担当
基本方針Ⅱ－① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ－② まちの個性を生かして魅力を高める	学校跡地活用の促進	元小学校の跡地活用について、資産活用推進室と連携の下、地域における有効活用に向けた協議が円滑に進むよう支援します。	1 元安寧小学校（平成7年度閉校） 同校の跡地活用については、本市に事前登録を行った複数の事業者から活用案の提示を受けている。現在、事業者から提案のあった案について地域に説明するとともに、平成29年度に自治連合会から提出のあった要望書を踏まえ、安寧自治連合会及び安寧体育振興会を中心とした「元安寧小学校跡地問題検討委員会」で調整を図っている。 2 元植柳小学校（平成21年度閉校） 平成30年2月7日 植柳自治連合会から同校の跡地活用に係る要望書が本市に提出 同年6月 契約候補事業者選定委員会において募集要項や審査基準等を協議。 同年10月 プロポーザルに3社が応募。その後、4回の同選定委員会で3社を審査（審査の結果、安田不動産（株）が契約候補事業者として適当であるとの結論に至る。） 令和元年7月17日 同社と本市との間で、基本協定書締結式を実施（その後の地域と同社、本市との複数回の事前協議会の中で、地域住民の要望を確認。） 同年10月1日 事前協議会において、学校敷地北側の地上2階に屋内体育館を設置し、災害時には避難所として使用するプランの変更案が示され、変更案をベースに三者で議論を深めた。 （植松公園の再整備については、地域住民や利用者が参加してのワークショップを3回（10月23日、12月1日、1月18日）開催し、同公園の再整備の最終的整備計画案を作成。） 令和2年3月21日 植柳自治連合会臨時総会にて、ホテルによる跡地活用計画が承認された。 3 元淳風小学校（平成28年度閉校） 産業観光局新産業振興室が「創業・イノベーション拠点創生事業」として、同校跡地を活用した拠点づくりを推進。 ○今年度事業（旧下京図書館を活用した、2～3年の短期間の試行実施） 同小学校の跡地活用に対する地元の理解、協力を促すとともに、本格的な活用に向けた検討にいかすため、今年度予算を活用し、同校跡地に隣接する旧下京図書館及び同校空き教室を、起業を目指す若者向けの教育講座や、小規模なオフィススペースとして使用できるよう整備した。 【実施主体】取組を効果的に進めるため、民間事業者及び支援機関等との協働による任意団体「創業・イノベーション拠点運営協議会」を設立（令和元年10月9日）。 <構成メンバー> 京都市、（公財）京都高度技術研究所、京都大学、京都リサーチパーク（株）、（株）Darma Tech Labs、（株）フェニクシー、Plug and Play Japan、（一社）リリース 【入居企業】シンク・アンド・アクト株式会社、株式会社YOKOITO 【実施内容】旧下京図書館の1、2階を簡易改修し、教育講座等のイベントスペース及びオフィススペースを整備 元淳風小学校の空き教室を、交流やイベント、セミナー開催のスペースとして利用	1 元安寧小学校 地域の跡地活用検討委員会を支援し、地元の跡地活用希望案や条件等を整理する。 2 元植柳小学校 4月23日に3者（地域・京都市・安田不動産）による跡地活用案の合意及び京都市と安田不動産との契約書締結を行った。また、7月15日に事業者（安田不動産）と土地貸付契約を締結し、工事着手済。 3 元淳風小学校 「創業・イノベーション拠点運営協議会」での協議を通じて、活用スキームの検討を進める。同時並行して、地元の理解促進に努める。	地域力推進室 地域防災担当、 広聴担当

基本方針	令和元年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考（課題や総括、今後の方針等）	所属等
基本方針Ⅱ-① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ-② まちの個性を生かして 魅力を高める	地域の魅力を高めるまちづくりの支援	地元学区、事業者及び庁内関係部署などと連携を密にしながら、空き家、防災、防犯などの課題を解決し、地域の魅力を高めるまちづくり活動への支援を行います。	1 有隣学区の取組（有隣まちづくり委員会） 昨年度の「防災まちづくり計画」の策定後、近年の災害の増加による関心の高まりから、避難所運営に関し有隣学区独自の避難所運営マニュアルの作成を目指している。令和元年度は、住民への防災に関する関心を喚起し、意識啓発を行うため、「ゆうりんカフェ」（下京区まちづくりサポート採択事業）にて専門家を招き、災害時の避難所の出来事や避難者対応をゲーム感覚で模擬体験する避難所運営ゲーム（HUG）を実施した。（合計3回） 2 菊浜学区の取組（菊浜まちづくり推進委員会） 平成29年度から開始した防災まちづくりについては、平成31年度は福祉事業者等と連携し、認知症の声掛け訓練と共に防災・福祉まちあるきを実施した。また、防災訓練における啓発活動や避難時の簡易な調理を行う減災カフェ等を実施するとともに、これまでの活動の総括及び今後の防災まちづくりの方針を示した「菊浜学区防災・福祉まちづくりプラン」の策定。（令和2年3月） 3 開智学区の取組（開智まちづくり委員会） 自治会活動の次世代への継承を目的に、40～50代の若手の地域活動への参加を促進させるため、自治連副会長や若手10名により「開智まちづくり委員会」を発足。あえて目的やテーマを固定せず、若手を中心となって自由な活動を行っていくこととされ、具体的活動内容を継続協議中。 4 松原通境界活性化活動プロジェクト 昭和30年まで祇園祭の山鉦が巡行していた松原通に、かつての賑わいを取り戻すため、平成24年度に洛央小学校区の各学区が連携し、「松原通境界活性化プロジェクト活動委員会」を結成し、様々な地域活動を実施。（平成31年度は下記の内、「松原のれんの日」、「松原通古今東西」がサポート事業を活用） ○「洛央エンヤラヤー」の披露、「洛央鉦」の巡行（7月5日） 洛央小学校の児童達が、因幡薬師参道で踊り「洛央エンヤラヤー」を披露し、その後、子ども鉦「洛央鉦」で松原通を巡行した。 ○日和神楽お迎え事業（7月16日） 祇園祭宵山の日和神楽一行が、松原通を通行。 ○松原のれんの日（11月16日） 松原通に再び賑わいを取り戻すイベント「松原通の駅」。今年度は、同通境界の店舗に、地元業者や地域の子どもたちで製作した〈松原のれん〉を掲げ、各店舗のオリジナル商品の販売やワークショップなどを行う『松原のれんの日』を開催。また、地図サービス「Stroly」とも連動させて、同イベントの回遊性を高めた。 ○「古典文学で地域活性化」のための企画書作成 成果発表会（1月15日） 松原通境界を対象に「古典文学で地域活性化」の企画書を作成する取組を行っている、龍谷大学文学部・安藤ゼミの成果発表会に、審査員として参加。 ○「松原通古今東西」の作成 松原通の歴史と文化を知ってもらい親しみを覚えてもらうため、同通りに住んでいた歴史上の人物のイラストと地図を合わせたマップ「松原通古今東西」を製作。	1 有隣学区の取組（有隣まちづくり委員会） 令和元年度に引き続き、順次新たな参加者を対象にHUGを実施するとともに、HUGを通じて意見を収集し、有隣学区オリジナルの避難所運営マニュアルの作成を進める予定 2 菊浜学区の取組（菊浜まちづくり推進委員会） まちづくりプランの実現に向け、引き続き、防災・福祉まち歩きや、防災リーダー研修等を定例化し、継続的に実施予定。新たにHUGを実施し、避難所運営マニュアルの改訂・共有を行う。また、地域と事業者との連携を一層進め、学区内の宿泊事業者との災害発生時における協定締結を目指した働きかけを行う予定 3 開智学区の取組（開智まちづくり委員会） 今回のまちづくり委員会で、まちづくり委員会規約の素案の提示、及び今後の活動内容を具体化する。 4 醒泉学区の取組 令和2年度から防災まちづくりの取組を開始するとともに、まちづくり委員会の設立を目指す予定。 5 松原通境界活性化活動プロジェクト 「松原通の駅」の開催などについて、関係機関等と連携し、必要な支援を行っていく。	地域力推進室 広聴担当、 振興担当

基本方針	令和元年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考（課題や総括、今後の方針等）	所属等

テーマⅢ 歴史と伝統を未来へつなぐ（時をつなぐ）

<p>基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える</p>	<p>下京区140周年記念事業の実施</p>	<p>下京区誕生140周年を契機に、区民一人ひとりが学区や地域、社会の課題に向き合い、10年先、100年先の未来のために、「自分ごと」「みんなごと」のまちづくりを進め、区民や事業者等の皆様とともに多彩な取組を創出します。 <31年度> ・下京区の新たな風物詩として、使用済みとなった和ろうそくを活用するなど、地球環境に配慮した灯りのイベントを地域ぐるみで開催 ・市民参加型のモニュメントの制作、記念式典・祝賀会の開催や、記念誌を制作 ・事業趣旨に賛同した区民や地域の各種、企業による多彩な協賛事業を創出</p>	<p>1 下京区140周年記念式典・記念祝賀会の開催 下京区140周年記念事業のフィナーレとして記念式典・祝賀会を開催。式典では、区政の推進に尽力いただいた方々をはじめ、未来を担う若者や、地域特性を活かした新たなまちづくり活動への表彰を行った。祝賀会では、園児が出演するオープニングセレモニーや紙芝居、崇仁地域に移転予定である京都芸大出身者による演奏により、会場全体に一体感が生まれ、150周年に向けた新たなスタートを切るに相応しい会となった。 ・日 時：令和元年11月24日（日）17時～20時 ・場 所：ホテルグランヴィア京都 源氏の間 ・参加者数：588名 ・来 賓：市長、市会議長・副議長、下京区選出の市議員、府議会議員など ・被表彰者：個人76名 団体211名</p> <p>2 下京区140周年記念事業 (1) 「Power of Light しもぎょう伝燈祭 ～夢・希望・未来～」の開催 下京区内の寺社等において使用済みとなった「和ろうそく」を溶かし再成型したものを約3,000個使用し、梅小路公園を「和ろうそく」の灯りで彩った。 ・日 時：令和元年11月10日（日）午後5時～午後7時 ・場 所：梅小路公園 芝生広場、朱雀の庭 ・来 場 者：約5,000人</p> <p>(2) 下京区140周年記念モニュメントの制作 京都芸大の移転の機運を高め、一層の連携を図るため、京都芸大美術学部小山田教授が制作・監修したモニュメントを、下京区総合庁舎緑地帯に設置するとともに、併せて庭園を整備し、下京区の誕生日である3月14日から供用を開始した。</p> <p>3 下京区140周年記念誌の製作 下京区140周年記念事業実行委員会主催事業及び協賛事業等をまとめた冊子及びDVDを製作し、事業に御協力いただいた方に配布する。 (1) 内容 ①冊子 部数：5,000部（A4判カラー・表紙込50ページ） ②DVD 部数：1,000部 (2)配布先 実行委員会委員、23学区、各種団体、協賛団体等</p> <p>4 下京区140周年記念事業協賛事業 区民や事業者等に140周年記念事業のテーマの趣旨に沿った取組の呼びかけを行った結果、200を超える協賛事業が実施され、周年事業をきっかけとして地域の新たな絆やまちづくりが創出された。 実施事業数：210事業（プレ事業含む。）</p>	<p>140周年記念事業として実施したキャンドルイベントを令和2年度から下京区ふれあい事業として実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催とし、新たな下京区の風物詩となるよう、地域ぐるみで発展させる。</p>	<p>地域力推進室 庶務担当、 企画担当、 事業担当、 広聴担当</p>
--------------------------------	------------------------	---	--	---	--

基本方針	令和元年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考（課題や総括、今後の方針等）	所属等
基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える	第3期下京区基本計画の策定に向けた検討	<p>区民が主役の「第2期下京区基本計画（2011～2020）」を推進し、様々な分野でまちづくりに関わる方々から、幅広く意見をいただき、基本計画の進捗を図るとともに、区政に反映するため、「下京区民まちづくり会議」を開催しています。</p> <p>平成31年度は、30年度に実施した区民アンケート結果等を踏まえ、第3期基本計画の素案を検討します。</p>	<p>1 下京区民まちづくり会議の開催 日 時 ①10月3日（木）14時～15時 ②3月25日（水）【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため延期】 場 所 下京区役所会議室 参加者 ①46人 ②- 議 題 ①第2期下京区基本計画の総括、第3期下京区基本計画策定（案）について</p> <p>2 下京区民まちづくり会議部会の開催 日 時 ①11月13日（水）18時30分～20時30分 ②1月16日（木）18時30分～20時30分 ③3月4日（水）【書面開催】 場 所 下京区役所会議室 参加者 ①36人 ②33人 議題等 ①5つの重点テーマに関するワークショップ（同じ分野の中で、連携・協働できる取組の検討） ②5つの重点テーマに関するワークショップ（それぞれの分野を超えて、連携・協働できる取組の検討） ③部会以外での意見も踏まえ、重点テーマを6つに分け、「現状・課題」「方向性」「取組」等を取りまとめたものに関する意見聴取を行った。</p>	令和2年度は、元年度に検討した素案を基に、パブリックコメントを実施し、令和3年7月に第3期下京区基本計画（2021～2025）を策定する。	地域力推進室 企画担当
基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える	「区民が主役のまちづくりサポート事業」の実施	<p>下京区をより暮らしやすく、安心安全で、魅力的なまちにすることを目的に、区民の皆さんの主体的なまちづくり活動を支援します。</p> <p>平成31年度は、下京区140周年の7つの分野別テーマに該当する事業を補助対象として、「自分ごと」「みんなごと」のまちづくりを一層推進します。</p>	<p>募集期間 4月12日（金）～5月13日（月） 審査会 6月6日（木）・12日（水） 採択件数 30件（うち新規13件） 【主な採択事業】</p> <p>①注文をまちがえるレストラン（まあいいかcafé）（まあいいかlaboきょうと） 下京区内の飲食店等を利用して、認知症の方が接客スタッフとなって働くレストラン「注文をまちがえるレストラン」を実施。 5月12日（日）（来店者：92名）、9月23日（月・祝）（来店者：300名）、12月22日（日）（来店者：83名）、2月15日（土）（来店者：50名）</p> <p>②「こどもとはたらく子育て教室・親子まつり」と「フリーペーパー制作」（オトナプロジェクト実行委員会） 「子育てと仕事の両立」を目指す方のサポートをするため、親子向けの教室やイベントを実施。また、イベント参加者が子育てと仕事の両立の日々の中で体験したことをまとめたフリーペーパーを作成した。</p> <p>③プレミアムフライデーピアストリート（嶋原商店街振興組合） 商店街の活性化や住民の交流を促すため、商店街一帯を歩行者専用道路にして会場とし、飲み物や軽食を販売するイベントを開催。また、商店街と近隣文化施設をまとめたマップを作成した。 9月27日（金）（来場者：約500名）</p> <p>④EcoおばちゃんProject「エコ・シューレ」（Ladies' Eco Circleプラムロード） 子どもたちに環境について学んでもらうため、京都学生祭典と連携し、元梅逕中学校の「梅逕畑」において野菜栽培やイベントを実施。また、エコ啓発活動、サポーターの育成を実施した。</p> <p>⑤防災・福祉まちづくり（菊浜まちづくり推進委員会） 災害時における要配慮者への対応等をまとめた「防災・福祉まちづくりプラン」を作成し、学区民へ配布した。また、認知症についての講演会や、「模擬認知症患者徘徊訓練」等を実施した。</p> <p>⑥こどもと行こう！祇園祭2019（コドモト） あかちゃんや子どもと一緒に祇園祭を楽しむために、授乳・おむつ替えなどができる「こどもステーション」の設置・運営や、子どもたちに祇園祭に興味を持ってもらうための、体験型のワークショップを実施した。 ・こどもステーション：7月1日（月）～31日（水）34箇所設置 ・体験型ワークショップ：6月30日（日）（参加者：23名）、7月14日（日）・15日（月・祝）（参加者：14日16名、15日17名）</p> <p>⑦水墨画にチャレンジ！（京都市立芸術大学） 京都芸大生が講師になり、下京雅小学校教育に水墨画の技法や特性、その背景となる歴史を学ぶ授業を実施。 9月24日（火）（参加者：60名）、10月23日（水）・11月6日（水）（参加者：23日5名、6日6名）</p> <p>⑧140年前にタイムスリップ！昔あそび体験場（文化芸術マルシェ運営委員会） 下京区140周年を契機に、子どもたちが昔の遊びを体験できるイベントを実施するとともに、下京区の歴史をまとめた新作紙芝居のダイジェスト版冊子を作成し、来場者に配布した。 8月17日（土）～25日（日）（参加者：延べ165名）</p>	令和2年度は、社会課題・地域課題解決型のソーシャルビジネスの創出につながる活動に対しても支援対象を拡大し、「自分ごと」「みんなごと」のまちづくりを一層推進する。	地域力推進室 企画担当

基本方針	令和元年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考（課題や総括、今後の方針等）	所属等
基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える	「下京アフターア ワーズ」の実施	参加者が、まちづくりや起業へのアイデアを得て、下京区で活躍したいと思っていただくきっかけとなるよう、地域の魅力を活かして活動するゲストによるトークセッションやゲストと参加者、参加者同士の交流会を実施します。	令和元年度は、「特別編」として、これまでのゲストの方も参加者としてお呼びし、第3期下京区基本計画策定に向けた意見聴取の場として実施した。 ・日 時:12月9日(月) ・場 所:KAGANHOTEL-河岸ホテル-(大内学区) ・テーマ:「100年先の未来のために はじめよう！自分ごと、みんなごとのまちづくり」 ・参加人数:39人	令和2年度は、区民や、事業者、NPO、大学、関係機関等による連携・協働の場としてサポート事業として地域や社会が抱える課題について、オール下京の地域力による解決を図る交流会として実施予定。	地域力推進室 企画担当
基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える	地域コミュニティ活性化事業（マンション町内会の設立支援等） ※重点取組以外の取組		○マンション町内会の設立支援 【七条第三学区】 自治連のマンション対策委員会と連携し、新たに建設されたマンション単位の町内会を設立するため、下記マンション住民に説明会を行った。 ・10月27日 パデシオン京都七条（町内会発足に向けて、呼びかけを継続中） ・2月22日 シーンズ京都西大路五条パークホームズ（4月に町内会発足予定） 【西大路学区】 自治連会長、市協会長と連携し、下記マンション住民に対し、町内会設立を依頼するため説明会を行った。 ・11月23日 シェリア京都西大路 （現段階で役を引き受けることができる住民が少ないため、中長期的に取り組んでいく。）	継続して学区自治連合会（マンション対策委員会）と連携し、相手毎に戦略を練りながら計画的にアプローチしていく。	地域力推進室 広聴担当
基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える	下京区ふれ愛ひろば（ふれあい事業） ※重点取組以外の取組		幅広い世代の区民が集い、互いに交流を深めることを目的に開催。ステージでは、下京区ゆかりの皆さんが演奏、歌、ダンス等を披露し、会場では、様々な団体が、グルメ、体験・PR等50以上のブースを出展した。また今年は、下京区140周年を記念してゆるキャラパレード等様々な企画を実施した。 ・日 時：11月10日（日）正午～午後4時 ・場 所：梅小路公園 ・来場者数：25,000人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「下京区ふれ愛ひろば」に代えて、「密」にならない形で区の魅力を再発見し、区民のふれあいの場となるイベントを開催する。	地域力推進室 事業担当

基本方針	令和元年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考（課題や総括、今後の方針等）	所属等

2 より一層信頼される区役所づくりのために

<p>すべての職員が高い倫理観を持ち、法令に従い、これを確実に守るといふ基本を徹底することはもとより、創造的かつ主体的に職務を遂行し、来庁される皆様（来庁者）に満足いただける、より快適な行政サービスを提供する</p>	<p>コンプライアンスの徹底</p>	<p>職員に、より一層、公務員倫理及び法令遵守の周知徹底を図るとともに、組織・制度の改正についても、窓口などで十分に説明を行い、区民の皆さんの理解を得られるよう努めてまいります。</p>	<p>1 地域力推進室 全庁きょうかん推進部会で話し合われた、公務員倫理の高揚等の庁内改革策について、所属長への伝達と各所属に対する周知を徹底している。また、適正なサービスの確保に向けて、出勤調査及び職場巡察を実施し、所属及び職員一人ひとりのコンプライアンスに対する意識の向上に努めた。</p> <p>2 区民部 あらゆる機会をとらえて、公務員倫理・法令遵守の周知徹底を図るとともに、個人情報流出の防止及び迅速かつ丁寧な事務処理を目指した。</p> <p>3 保健福祉センター 服務規律の徹底を機会あるごとに再認識している。また、取り扱う金銭が公金であることの意識付けを常に行い、保健福祉センターにおける金銭等取扱い五原則の周知徹底を図り、公金・金庫の管理等について厳正な取扱いを徹底した。</p>	<p>信頼される区役所づくりのため、公務員倫理及び法令遵守の周知徹底を図るとともに、制度改正についても、窓口等において十分な説明を行い、市民の理解を得られるよう努めていく。</p> <p>信頼される区役所づくりのため、公務員倫理及び法令遵守の周知徹底を図るとともに、制度改正についても、窓口等において十分な説明を行い、市民の理解を得られるよう努めていく。</p>	<p>地域力推進室 区民部 保健福祉センター</p>
	<p>市民サービスの向上</p>	<p>市民の目線に立ったきめ細かな対応を心掛け、課題とされる点について改善策を図り実施することで、更なるサービスの向上に取り組めます。</p> <p>常に分かりやすい庁舎案内表示に努めるとともに、職員の「伝える力」「聴く力」を磨き、情報を迅速に分かりやすく伝えます。</p> <p><31年度> ○「婚姻メモリアルポスター」の作成 平成26年2月22日（ここにこ夫婦）から、婚姻届を提出された方を対象に、お届けを持ったお二人を撮影し、その写真を台紙に差し込んだ「婚姻メモリアル証」をお贈りし、明るい未来へ踏み出すお二人を応援しています。</p> <p>下京区140周年を記念し、写真を撮影する際の背景として、下京区の有名スポットを取り上げたオリジナルポスターを新たに作成します。</p>	<p>1 地域力推進室 前年実施した窓口サービスアンケートの結果を活用した職場会議や、庁内プロジェクトチームを活用し、各所属における改善策等の立案を図った。</p> <p>2 区民部 職員の「伝える力」「聴き出す力」「受け止める力」を向上させ、窓口、電話及び郵便で接する市民の皆さまに信頼される職場づくりを目指した。</p> <p>「婚姻メモリアルポスター」については、下京区140周年を記念し、京都タワー及び東本願寺が背景となるオリジナルポスター2種類を新たに作成した。</p> <p>3 保健福祉センター 来庁者には積極的に声かけを行い、用件を正確に把握し、正しい窓口へ案内できるよう努めた。また、市民の視点に立ったきめ細やかな対応を心がけた。</p>	<p>サービスの状況を確認し、市民の視点に立った極め細やかな対応を心がけるとともに、職員の働き方についても職場全体で考える機会を醸成することにより、サービスと満足度の向上に取り組んでいく。</p> <p>サービスの状況を確認し、市民の視点に立った極め細やかな対応を心がけるとともに、職員の「伝える力」「聴き出す力」を磨き、サービスと満足度の向上に取り組んでいく。</p> <p>サービスの状況を確認し、市民の視点に立った極め細やかな対応を心がけるとともに、職員の働き方についても職場全体で考える機会を醸成することにより、サービスと満足度の向上に取り組んでいく。</p>	<p>地域力推進室 区民部 保健福祉センター</p>
	<p>庁内プロジェクトチームの設置</p>	<p>若手職員を中心として、情報発信強化に取り組む「伝える力」「聴く力」と、区役所総合庁舎に何度でも来たくくなるような「訪れたくなる庁舎づくり」に取り組む2つの庁内プロジェクトチームを立ち上げ、区役所職員の意識改革と自己研さんに努めるとともに、下京区140周年に参画し、若い力を結集して、事業を盛り上げます。</p>	<p>1 訪れたくなる庁舎づくりプロジェクトチーム 誰もが気持ちよく利用できる庁舎環境づくりを、ソフト面、ハード面の両方から検討し、来庁者だけでなく、職員にとっても居心地の良い区役所を目指して結成した。</p> <p>【活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎1階エントランスホールにおいて、クラシック音楽（京都芸大提供）放送を開始。（昨年度からの継続事業） ・京都市立芸術大学情報発信コーナーを新設し、移転に向けた機運醸成を進めた。 ・庁舎内の照明のLED化を進め（31年度は2階エントランス）、明るく、気持ちの良い空間づくりと環境に優しい庁舎づくりを推進した。（昨年度からの継続事業） <p>2 伝える力・聴く力プロジェクトチーム 市民に親しまれる区役所を目指し、SNS等で区役所の取組やイベントの情報を発信した。また、下京区140周年の周知と機運醸成を目指し、インスタグラムアカウント（下京区140周年記念事業実行委員会）で下京区140周年の取組紹介や、下京区のマスコット「シモンちゃん」のPR動画の作成及び発信を行った。</p>	<p>区民の皆様が親しまれ、気軽に利用していただける区役所づくりのために、「下京区役所庁内市民サービス向上等検討チーム（庁内プロジェクトチーム）」を設置し、市民サービスの向上に積極的に取り組んでいく。</p> <p>プロジェクトチームのメンバーが目的別に課題意識を持ち、意見交換などを行うことにより、具体的な活動に発展させ、市民サービスの向上につなげていく。</p>	<p>地域力推進室 庶務担当、 企画担当</p>